

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日露戦略対話	担当部局庁	欧州局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度開始	担当課室	ロシア課	課長 岡野 正敬			
会計区分	一般会計	施策名	I-4 欧州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第四号及び第七号	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日露戦略対話は、日露間の重要な二国間問題及び喫緊の国際問題について解決・対応策を見いだしていくことを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日露の外務省の事務レベルのトップが、戦略的観点から、重要な二国間問題及び喫緊の国際問題について意見交換を行うための出張旅費及び会議開催のための費用。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	2	3	4	3	
		補正予算	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-		
		計	2	3	4		
		執行額	5	2	0.4		
	執行率(%)	317%	55%	10%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	成果目標:日露事務レベルのトップによる戦略的観点からの各種重要イシューについての意見交換の実施。 成果実績:本件事業実施の直接的効果を測定することは困難なるも、日露二国間関係の推移を知る上で参考として日露要人往来数を挙げることができる。	成果実績	人	14	5	6	
		達成度	%	350	36	120	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	開催数(東京,モスクワ)	活動実績 (当初見込み)	回	東京1回,モスクワ2回	東京1回,モスクワ1回	東京1回	— (東京1回,モスクワ1回)
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠	開催場所が異なるため、定量的に実績を示すことができない。				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	旅費	2,837	3,004				
	会議費	427	420				
	計	3,264	3,424				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
点検結果	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
出張の際の航空賃は、引き続き、割引航空券等の使用を推奨していく。また、引き続き出張期間、出張者数を必要最小限にとどめ、複数案件を一度の出張の機会に行うなどして経費節約に努める			
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>冷戦の終了、中国の発展等日露を取り巻く戦略的環境の変化に伴い、様々な事項で日露間には共通の戦略的利益が生まれている。日露は、戦略的パートナーシップの構築へ向けて、2003年1月に首脳間で合意された「日露行動計画」を基礎として、幅広い分野で関係を拡大させてきており、戦略対話の実施を通じて、日露の共通の戦略的利益とは何かについてロシア側と議論を深めるとともに、具体的な協力の可能性について意見交換することは、さらなる日露関係の発展にとって有意義である。</p> <p>これまでに開催した協議においては、議題となったテーマについて日露間で率直な意見交換を行え、非常に有益な意見交換が行えている。</p>			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

外務省
0.4百万円
日露の共通の戦略的利益の
推進



【少額随意契約】
A.(株)帝国ホテル
0.4百万円
会議費

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)帝国ホテル	会議開催経費(会食経費等)	0.4	少額随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					